エプソン

投写距離シミュレーター (エッジブレンディングシミュレーター) ユーザーマニュアル

REV.D

セイコーエプソン株式会社

目次

1.	概要 2	-
2.	全体図3	-
2	2-1. 平面スクリーン 3	-
2	2-2. 曲面スクリーンン 4	-
3.	型番を入力してプロジェクターを検索する(平面/曲面)	-
4.	プロジェクターの設置姿勢を選択(平面/曲面)	-
5.	画面形状を選択する(平面/曲面)	-
6.	スクリーンサイズとプロジェクター位置を入力する	-
6	5-1. スクリーン形状: 平面 5	-
6	5-2. スクリーン形状: 曲面 6	-
7.	アスペクト比の設定 7	-
7	7-1. 画面形状: 平面 7	-
7	7-2. 画面形状: 曲面 7	-
8.	ブレンド幅を入力する(平面/曲面)	-
9.	プロジェクターの最大台数を入力する (平面)	-
10	. シミュレーションを実行する	-
11	. シミュレーション結果 9	-
1	l 1-1. 画面形状:平面	-
1	l 1-2. 画面形状: 曲線	-
12	. ビュー 10	-
1	L2-1. 画面形状: 平面 10	-
1	l 2-2. 画面形状: 曲線 12	-
13	. 明るさ&コントラストガイド(1 台あたり) 12	-
14	. 投写距離情報 13	-
1	L4-1. 画面形状: 平面 13	-
1	14-2. 画面形状:曲面	-
15	. シミュレーション結果の出力 15	-

【ユーザーマニュアル改訂履歴】

Rev	リリース日	ページ	内容
Α	2021.10.27	All	新規リリース
В	2024.3.28	P3-4,11,13-14	新機能追加に伴う改訂
С	2024.6.28	P2	文言修正
D	2024.11.18	P8-11	10.シミュレーションを実行:実行時のエラーに関する補足を追加
			12.ビュー:最新仕様の説明を追加

エッジブレンディングシミュレーションとは?

「エッジブレンディングシミュレーション」は「エプソンプロジェクター投写距離シミュレーター」の機能の一つです。スクリーンサイズに応じてプロジェクターの台数とブレンド幅の適切な量をシミュレートすることができます。

サポートブラウザー

このシミュレーターは、次の Web ブラウザをサポートしています。

- Microsoft Edge[®]
- Google Chrome™
- Firefox[®]
- Safari

ご注意

- ① 本書の著作権は、セイコーエプソン株式会社(以下「当社」)に帰属いたします。お客様は当社に無断で本書の内容の 全部または一部を複製、転載、改変、送信したりすることはできません。
- ② お客様は当社のプロジェクター製品のご購入を検討、また、ご利用いただく目的のためにのみ、本書をご利用いただくことが出来ます。
- ③ 本書上の他者商標の帰属先は、商標についてをご確認ください。

免責事項

- ① 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。本書に記載されている内容の最新情報につきましては、WEB に掲載されているものを最新版として優先致します。
- ② 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、本書の内容について、当社はその正確性または完全性等についていかなる保証も行うものではありません。万一、これらの内容に誤りがあった場合において、当社は一切の責任を負いかねます。
- ③ お客様は、本書をお客様ご自身の責任において利用いただくものとします。お客様が本書をご利用いただいたこと、また はご利用いただけなかったことにより、お客様に直接的、間接的、特別、偶発、結果的、その他いかなる損害が生じた場合でも、当社は一切責任を負いません。

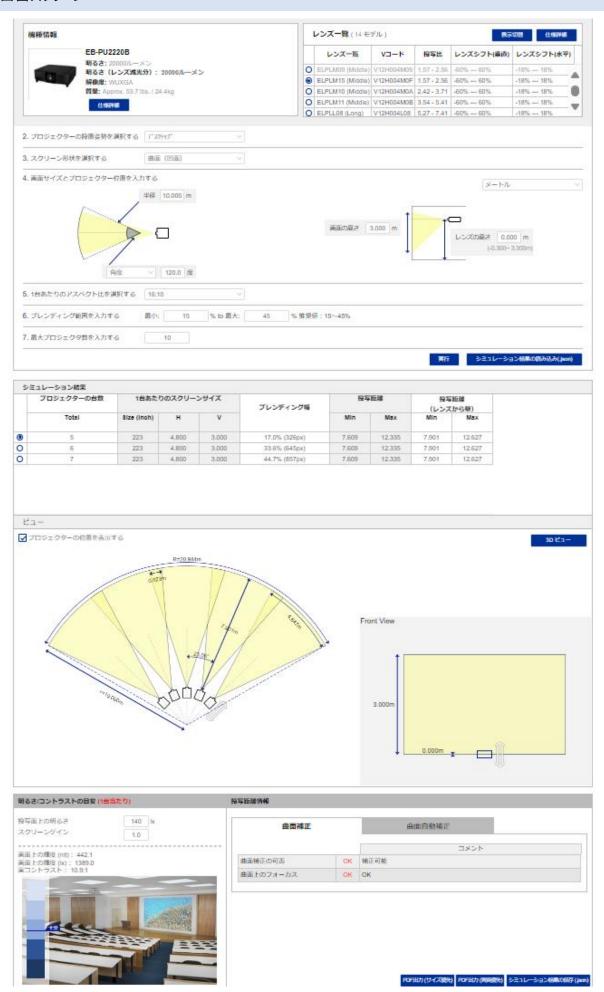
©SEIKO EPSON CORPORTION 2024. All rights reserved.

2. 全体図

2-1. 平面スクリーン



2-2. 曲面スクリーン



3. 型番を入力してプロジェクターを検索する(平面/曲面)

エッジブレンディング機能をシミュレーションするモデル名を検索することができます。

(エッジブレンディング機能を持つ機種のみ検索できます)



4. プロジェクターの設置姿勢を選択(平面/曲面)

プロジェクターの設置姿勢(デスクトップまたは天吊り)を選択してください。

5. 画面形状を選択する(平面/曲面)

画面の形状(平面、曲面(凹面)、または曲面(凸面))を選択してください。

「曲面補正」をサポートしていない機種を選択している場合、「曲面(凹面)と曲面(凸面)はグレー表示され、選択できません。



6. スクリーンサイズとプロジェクター位置を入力する

6-1. スクリーン形状: 平面

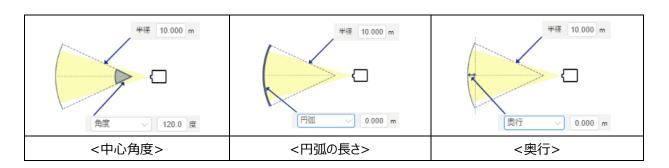
スクリーンサイズのみ入力可能です。

4. スクリーンサイズを入力する 幅: 6.700 m 高さ: 2.700 m × トル ×

6-2. スクリーン形状: 曲面

スクリーン情報とプロジェクター位置を入力してください。

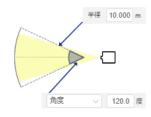
- a. スクリーン半径
- b. 中心角度/円弧の長さ/画面の奥行のいずれか



- c. スクリーンの高さ
- d. レンズの高さ(床からレンズ中心まで)

<凹面>

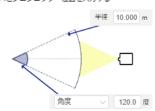
4. 画面サイズとプロジェクター位置を入力する





<凸面>

4. 画面サイズとプロジェクター位置を入力する





7. アスペクト比の設定

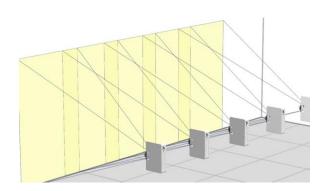
7-1. 画面形状: 平面

プルダウンメニューからアスペクト比を選択してください。

通常の姿勢(16:10、16:9 および 4:3)とポートレート姿勢(10:16、9:16 および 3:4)を選択することができます。



●ポートレート姿勢時のアスペクト比を選択すると、プロジェクターは以下の画像のように 90 度回転します。



7-2. 画面形状: 曲面

ポートレート姿勢は選択できません。



8. ブレンド幅を入力する(平面/曲面)

ブレンド幅の範囲を入力してください。デフォルト設定は 15% から 45% です。

注): プロジェクター内蔵のエッジブレンディング機能で設定できる最大ブレンド幅は 45%です。

6. ブレンディング範囲を入力する 最小: 15 % to 最大: 45 % 推奨値: 15~45%

ピクセル表示にする

単位を「ピクセル」に変更することができます。

6. ブレンディング範囲を入力する 最小: 288 to 最大: 864 推奨値: 288~864 pixel

バーセント表示にする

9. プロジェクターの最大台数を入力する (平面)

横方向および縦方向の最大プロジェクター台数を設定します。(平面スのみ)。

水平方向:制限なし 垂直方向:最大3段

7. 水平/垂直の最大プロジェクタ数を入力する 水平: 4 垂直: 2 (1~3)

10. シミュレーションを実行する

「実行」ボタンを押すと、シミュレーション結果が表示されます。

また、シミュレーションデータを保存した json ファイルがある場合は、json ファイルを読み込んだ後に「実行」ボタンを押すことでシミュレーション結果を再確認することができます。

実行

シミュレーション結果の読み込み(.json)

条件を満足する結果がない場合、以下の文章が出るので、条件を変えて再度シミュレーションを実行してください。

プロジェクターの台数			1台あたりのスクリーンサイズ			ブレンディング幅		投写距離	
Н	V	Total	Size (inch)	н	V	Н	V	Min	Max
			にあう設置できません。	。以下を変更し	てください。				
		旦十プロミニー	クター数を増やす						

11. シミュレーション結果

11-1. 画面形状: 平面

以下の結果が表示されます。

<u>ار</u>	シミュレーション結果									
	-	プロジェクターの台	数	1台あたりのスクリーンサイズ			ブレンディング幅		投写距離	
	н	V	Total	Size (inch)	н	v	н	V	Min	Max
)	2	1	2	201	4.320	2.700	44.9%	0.0%	5.898	9.540
)	4	2	8	115	2.469	1.543	42.9%	25.0%	3.355	5.437
О	4	2	8	108	2.335	1.459	37.7%	15.0%	3.172	5.141
5	3	2	6	129	2.787	1.742	29.8%	45.0%	3.792	6.143

- 1. プロジェクターの台数
- 2. プロジェクター 1 台あたりの投写サイズ
- 3. ブレンド幅
- 4. 投写距離

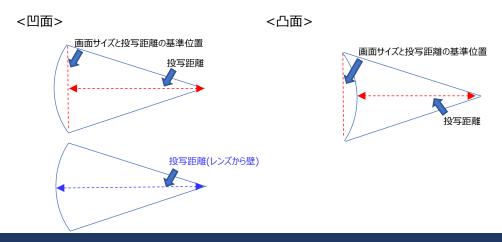
11-2. 画面形状: 曲線

以下の結果が表示されます。

۶	シミュレーション結果							
	プロジェクターの台数	1台あた	りのスクリー:	ンサイズ	ブレンディング幅	投写距離		
	Total	Size (inch)	н	v	7 V 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	Min	Max	
•	5	223	4.800	3.000	326	7.609	12.335	
0	6	223	4.800	3.000	645	7.609	12.335	
0	7	223	4.800	3.000	857	7.609	12.335	

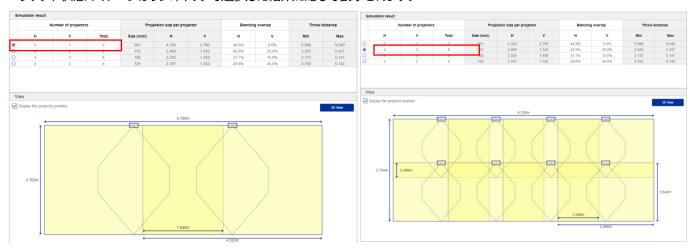
- 1. プロジェクターの台数
- 2. プロジェクター 1 台あたりの投写サイズ: 画面サイズの基準位置(下図参照)
- 3. ブレンド幅
- 4. 投写距離:レンズ〜投写距離の基準位置までの距離(下図参照) 凹面の場合、投写距離(レンズから壁)が追加されます

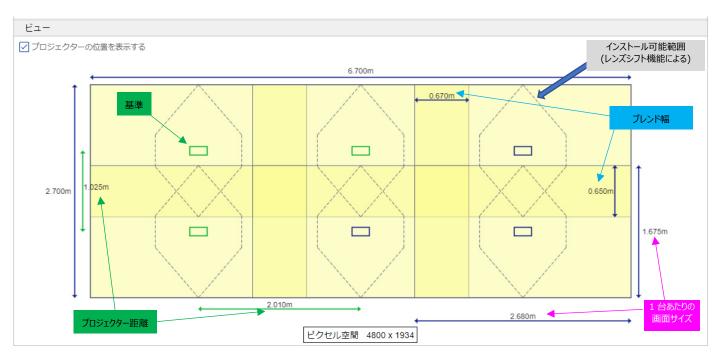
注意: 画面サイズと投写距離の基準位置は以下の通りです。



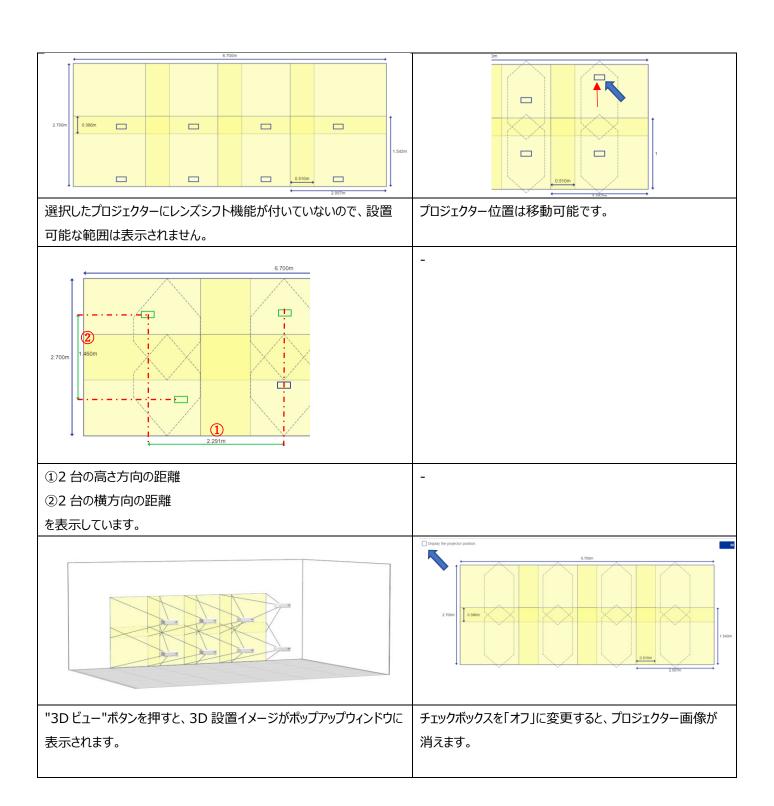
12-1. 画面形状: 平面

ブレンド状態のイメージはラジオボタンで選択した結果に応じて表示されます。





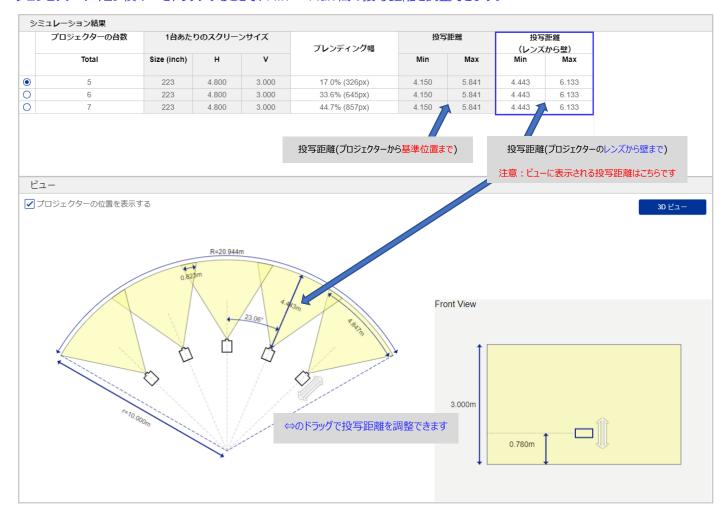
ピクセル空間の数値はエッジブレンディング後の画面の<u>有効画素数(横幅×高さ)</u>です。投影映像を作成する際の参考にしてください。 緑のプロジェクターを動かすと左上のプロジェクターを基準にしてプロジェクター間の距離も変わります。中心に配置できない場合のプロジェクター間の距離の参考にしてください。プロジェクターを中心に戻したい場合、再度計算を実行するかラジオボタンで再度選択してください。



12-2. 画面形状: 曲線

ブレンド状態のイメージはラジオボタンで選択した結果に応じて表示されます。

プロジェクターアイコン横の⇔をドラッグすることで、Min ~ Max 間の投写距離を調整できます。



13. 明るさ&コントラストガイド(1 台あたり)

1 台あたりの明るさとコントラスト値を確認できます。部屋の明るさを入力してください(壁面の明るさを測定して入力することをお勧めします)。 この結果は計算値です。実際の明るさとコントラストを保証するものではありませんのでご了承ください。



14. 投写距離情報

14-1. 画面形状: 平面

プロジェクター番号をクリックすると通常モードに画面が遷移し、プロジェクターの位置の詳細を確認できます。

投写距離情報

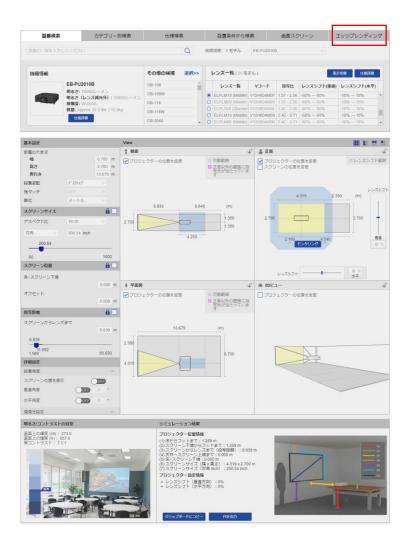
プロジェクター番号をクリックしてください。 自動的にプロジェクターの位置の詳細情報に移動します。

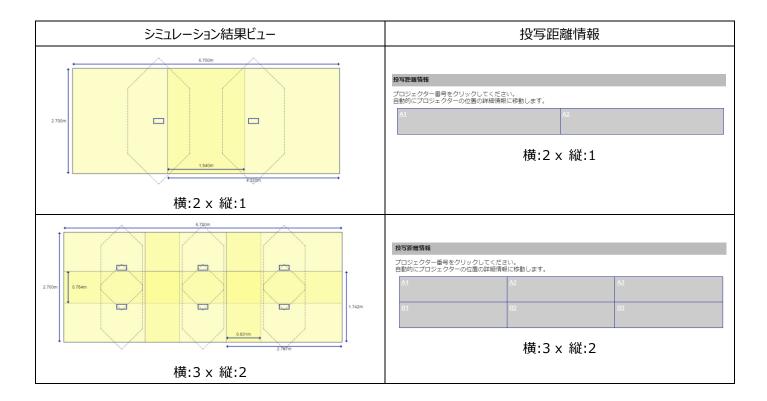




このモードはシミュレーション結果の確認に使用されるため、設定(プロジェクターの位置、画面サイズなど)は変更できません。

「エッジブレンディングシミュレーター」に戻りたい場合は、「エッジブレンディング」タブをクリックしてください。





14-2. 画面形状:曲面

曲面の場合は、曲面補正機能で補正可能かどうか、曲面上のフォーカスが合うかどうかの判定が表示されます。



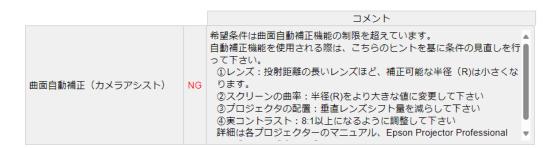
NG の場合は、OK にするためのヒントが表示されます。

		コメント
曲面補正の可否	NG	希望条件は曲面投写補正機能の制限を超えています。 曲面補正機能を使用される際は、こちらのヒントを基に条件の見直しを行って下さい。 ①レンズ:投射距離の長いレンズほど、補正可能な半径(R)は小さくなります。 ②スクリーンの曲率:半径(R)をより大きな値に変更して下さい ③プロジェクタの配置:垂直レンズシフト量を減らして下さい
曲面上のフォーカス	OK	ок

曲面自動補正タブでは、カメラアシスト(幾何学補正アシストのブレンディング)機能で補正可能かどうか表示されます。



NG の場合は、OK にするためのヒントが表示されます。



15. シミュレーション結果の出力

通常のシミュレーターと同様に、シミュレーション結果を PDF で出力できます。また、json ファイルでも保存できます。保存した json ファイルは "10. シミュレーションを実行する" で呼び出すことができます。

以上